

申請書記入例

平成29年〇〇月〇〇日

申請日は窓口実際に提出する日付

光市長 市川 熙 様

郵便番号 745-8501

住所 光市中央6丁目1番1号

※消せるボールペンでの記入は不可
黒のボールペンで記入すること

フリガナ ヒカリ タロウ

申請者氏名 光 太郎

電話

スタンプ印不可

補助金交付申請書

光市省エネ生活普及促進事業補助金の交付を受けたいので、光市省エネ生活普及促進事業補助金交付要綱第7条第1項の規定により、下記のとおり補助金の交付を申請します。

住宅所有者が申請者と異なる場合、新築住宅・建売物件について共有名義の場合は申請者でない方の承諾書が必要
※市指定の様式があります。

1 補助対象設備の設置場所等

(1) 設置場所	光市 中央6丁目1番1号	着工予定月日は、申請日から15日目以降の日付
(2) 設置住宅の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 既存住宅 <input type="checkbox"/> 新築住宅 <input type="checkbox"/> 対象設備を有する建売住宅	
(3) 住宅所有者	光 太郎	
(4) 着工予定月日	平成29年〇〇月〇〇日	
(5) 完了予定月日	平成29年〇〇月〇〇日	
(6) 補助金基準額 (①②③の計)	例 85,000	円
補助金交付申請額※ (市記入欄)	※記入しないこと 円	

※補助金の額は、220,000円を上限(スマートハウスプランは別)とする。

2 補助対象設備及び補助金基準額(該当する項目にを記入してください。)

(1) 住宅用太陽光発電システム

補助金基準額 ① (1,000円未満切捨て)	例 50,000	円
<input checked="" type="checkbox"/> 市内業者(10,000円/kW)	例 5 . 2 3	kW
<input type="checkbox"/> 市外業者(7,000円/kW)	(小数点以下2桁未満切捨て)	
既設の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	(解説) 市内業者 10,000円/kW × 5.23kW ※補助上限は5.00kW = 52,300円/kW ⇒ 補助金額 50,000円	

(裏面)

(2) 省エネルギー設備

第一種設備	定置用リチウムイオン蓄電池 ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限80,000円)		円
	家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム) ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限80,000円)		円
	HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム) ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限30,000円)		円
	地中熱利用空調器 ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限100,000円)		円
	木質バイオマスストーブ ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限30,000円)		円
第二種設備	太陽熱利用システム ※「経費内訳書」の合計金額の1/2(上限30,000円)		円
	複層ガラス・二重サッシ ※50,000円		円
	LED照明設備 ※「経費内訳書」の合計金額の1/2 設置基数により上限金額が異なる(最大上限50,000円)	例 35,000	円
補助金基準額 ② (1,000円未満切捨て) (計)		例 35,000	円

(3) スマートハウスプラン

補助金基準額 ③ ※70,000円		円
既設の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	設置済の設備 <input type="checkbox"/> 太陽光発電システム <input type="checkbox"/> エネファーム	

(申請設備別の添付書類)

添付書類	太陽光	省エネ
工事請負契約書の写し又は売買契約書の写し (省エネルギー設備)見積書の写しも可	要	要
経費内訳書	要	要
設置予定箇所の現況写真	要	要
太陽光パネルの配置計画図(建売住宅は配置図)	要	不要
市税の完納証明書(申請前1か月以内に発行のもの)	要	要
承諾書(申請者と建物所有者が異なる場合)	要	要
住宅立面図(新築住宅の場合)	要	不要
設置場所を示す書類(住宅平面図、立面図等)	不要	要
対象設備の仕様書又はカタログの写し	不要	要

※その他、必要な書類

市税務課で発行。市外の方及び転入により本市に課税がない方は異なる書類が必要となるため、手引きを参照ください。

市所定の様式があります。